

## 平成 27 年度 事業報告

創立 50 周年を 1 年後に迎える歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、公演内容の充実を図り次のような演奏事業活動を行った。

### 1. 演奏事業

#### (1)オーケストラ演奏事業

##### ①定期演奏会 <28 回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催した。

愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、『メタ』をテーマに、8 月を除く毎月、年 11 回 22 公演を開催した。

日本特殊陶業市民会館において、市民会館名曲シリーズは、『マーティン・ブラビッシモ!』年 4 回、及び恒例の第九コンサートを年 2 回の計 6 公演開催した。

##### ②巡回演奏会 <14 回>

地方自治体等の依頼により市町村において開催した。

##### ③移動音楽教室 <36 回>

小・中・高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催した。

##### ④特別演奏会 <11 回>

しらかわシリーズでは、ハイドンの交響曲の傑作が並ぶ後期の「ロンドンセット」のシリーズ 3 年間の最終年として実施するとともに、3 年目となる豊田市コンサートホールシリーズなど幅広い年代の市民を対象とした演奏会、並びに障がいのある方などを対象とした福祉コンサートを開催した。

##### ⑤依頼演奏会 <31 回>

企業・団体等からの依頼により開催した。

合 計 120 回

#### (2)アンサンブル(小編成)事業等

##### ①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年 15 回開催した。

## ②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントと連携して実施した。

## ③依頼によるアンサンブル(小編成)演奏

企業や団体等からの依頼による「アンサンブル(小編成)」の演奏活動を実施した。

## ④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年 12 回開催した。

## ⑤楽団員講師派遣事業

小中学校の授業に楽団員が数名講師として訪問し、演奏とともに音楽の魅力などを伝えた。

## 2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者 3 名、ソリスト 1 名、首席客演コンサートマスター 1 名の招聘を行った。

### ① 指揮者の招聘

『定期演奏会』では、常任指揮者マーティン・ブラビンズ、名誉客演指揮者ティエリー・フィッシャー並びにクリスティアン・アルミンクを招聘した。

### ②ソリストの招聘

世界で活躍中のソリストを招聘し共演することで音楽的刺激を共有し、そこで得られる感性によりさらに一步踏み込んだ音楽作りを目指す。本年度はヴァイオリンのアリーナ・イブラギモヴァを招聘した。

### ② 首席客演コンサートマスターの招聘

ウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネックを招聘した。過去 10 年以上にわたる彼との共演により音が着実に豊かになってきており、さらに共演を重ね「音の向上」を目指した。

## 3. エール基金事業

楽団員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金を貸し付けた。

## 4. 創立50周年記念事業について

平成 28 年度に創立 50 周年記念事業を迎えるにあたり、27 年度はプレコンサートや「まちかどスペシャル」などで盛り上げを図った。